



’10拳真祭 ～第1回熊谷CUP～

「第7回オールジャパン Jr.ジュニア空手道選手権大会」

「国際 FSA 拳真館ワールド空手トーナメント2010」(黒帯部門・新人部門)

「第7回全日本ケイオス(CHAOS)セーフティー選手権大会」(一般部門・ジュニア部門)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

各先生、支部長の方々におかれましては空手道の修行、道場の発展の為、御尽力されている事と存じます。さて、この度「第7回オールジャパン Jr.ジュニア空手道選手権大会」「国際 FSA 拳真館ワールド空手トーナメント2010」(黒帯部門・新人部門)「第7回全日本ケイオス(CHAOS)セーフティー選手権大会」(一般部門・ジュニア部門)を開催する運びとなりました。

全国から選出された少年・少女拳士を一同に会し、流派・団体間の交流と共に、真の全日本チャンピオンを決める大会であります。又、一般部は、拳歴の浅い方、初めて試合に出られる方の為に、会派・流派を超え、公平な判定の下、常日頃の稽古の成果を存分に発揮できる場にしたいと考えております。また、2006年から素手による顔面攻撃を認めた大会「ケイオス(CHAOS)マッドマックス」を記念して、ケイオス(CHAOS)のアマチュアルール、ケイオス(CHAOS)セーフティーをジュニアでも導入することになりました。このルールは防具付きでポイントを争うもので、顔には前面ガード付きヘッドガード、体には胴プロテクターをつけたルールで、2008年4月のアジア国際 Jr.ジュニア空手道選手権大会でデモンストレーションが公開された、従来のフルコンタクト空手ルールとは違い防具付きの為打撃による痛みがなく、今まで試合を嫌がる生徒達にもゲーム性を楽しみながら顔面パンチが修得できると大好評です。

現有する硬式空手に近い安全なルールです。また、本年度アジア国際空手道選手権大会で好評だったダブルエントリー(フルコンタクト部門とケイオスセーフティー部門)の際はケイオスセーフティーの出場料が無料になるシステムを今回の「拳真祭」でも導入いたします。

尚、アジア国際空手道選手権大会で経費削減のため縮小されたトロフィーのサイズは従来のサイズに戻ります。つきましては同趣旨に是非御賛同頂き、万障お繰り合せの上ご参加いただきます様お願い申し上げます。

敬具

平成22年 6月 吉日
最高審判長 羽山威行
実行委員長 内田和久
運営委員長 末村 淳

主催 国際 FSA 拳真館空手道連盟総本部

試合方法 フルコンタクトカラテルール・トーナメント方式
顔面パンチありの防具付きカラテルール・トーナメント方式

開催日 2010年10月3日(日)

時間	開場	午前 10 時
	受付	午前 10 時～10 時 30 分
	試合開始	午前 11 時
	開会式	午後 1 時 30 分
	少年部門	午後 5 時
	表彰式予定時刻	
場所	国立代々木競技場 第 2 体育館	
	〒150-0041 東京都渋谷区神南 2-2-1 TEL 03-3468-1177	
交通	JR 原宿駅下車、地下鉄千代田線 神宮前駅下車、各徒歩 3 分	
参加費用	諸般の経済事情を考慮し、今回は参加費を値下げしました。(◎印 値下げ)	
	ケイオスセーフティー ジュニア部門 ¥5,000	
	◎ケイオスセーフティー 一般部門 ¥6,000	
	◎フルコンタクトカラテルール 幼年・小学生・中学生・高校生の部 ¥5,000	
	◎フルコンタクトカラテルール 女子・マスターズ・一般色帯クラス ¥6,000	
	◎フルコンタクトカラテルール 一般上級クラス(種目番号 37.38) ¥7,000	
	※ダブルエントリーの選手はケイオスセーフティーの参加費が無料になります。	
	※ダブルエントリーの際は申込書を種目別に 2 枚提出してください。	
申込み締切り	2010年 9 月 3 日(金)必着 申込書不足分はコピーして下さい。	
申込み方法	所定の <u>申込書</u> に記入捺印の上、参加費と共に現金書留で郵送してください。 参加費は団体責任者が一括して参加申込み用紙を、現金書留にて締切日までに郵送してください。申込み用紙のみ、参加費のみの申込みは受けません。	
注意事項	① 選手は事前に健康診断を必ず受診してください(診断書提出不要)。 ② スポーツ保険に各自加入してください。(保険は 4 月での更新の場合が多いのでご注意ください)また、試合当日は万一のため健康保険証の持参をお勧めいたします。 ③ 試合中負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。 ④ 何らかの理由で参加不可能となった場合必ず大会事務局まで連絡してください。 ⑤ 大会事務局に納入した参加費はいかなる理由があろうとご返却出来ません。 ⑥ ゼッケンは大会当日、各団体一括でお渡しします。 ⑦ 審判員には昼食を用意致します。 ⑧ 出場選手の肖像権は主催者に帰属します。各種報道機関等が取材する場合がありますが、映像や画像が放映、掲載される場合があることをご了承ください。 ⑨ 道着の下への Tシャツの着用は、女子クラスのみ認めます。Tシャツの色は白以外は禁止となります。	
送付宛先	〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 4-28-2 第二高円寺 603 号 「10 拳真祭大会実行委員会 羽山威行」 TEL 03-5378-6036	

一 大会種目 一

「第7回オールジャパン Jr.ジュニア空手道選手権大会」

種目番号	種目名	種目番号	種目名
01.	幼年クラス(男女混合)初級【無級・白帯】	15.	小学4年女子(黒帯可)
02.	幼年クラス(男女混合)上級【有級、9級・オレンジ帯以上】	16.	小学5年男子 中級【5級・黄帯まで】
03.	小学1年男子 初級【白・オレンジ帯・9級まで】	17.	小学5年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
04.	小学1年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	18.	小学5年女子(黒帯可)
05.	小学1年女子	19.	小学6年男子 中級【5級・黄帯まで】
06.	小学2年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	20.	小学6年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)
07.	小学2年男子 上級【8級・青帯以上】(黒帯可)	21.	小学6年女子(黒帯可)
08.	小学2年女子(黒帯可)	22.	中学男子軽量級(50kg未満)の部(黒帯可)
09.	小学3年男子 初級【7級・青帯まで】	23.	中学男子中量級(60kg未満)の部(黒帯可)
10.	小学3年男子 上級【6級・黄帯以上】(黒帯可)	24.	中学男子重量級(60kg超級)の部(黒帯可)
11.	小学3年女子(黒帯可)	25.	中学女子の部(黒帯可)
12.	小学4年男子 初級【9級・オレンジ帯まで】	26.	高校男子軽中量級(60kg未満)の部(黒帯可)
13.	小学4年男子 中級【8級・青帯～5級・黄帯まで】	27.	高校男子重量級(60kg超級)の部(黒帯可)
14.	小学4年男子 上級【4級・緑帯以上】(黒帯可)	28.	高校女子の部(黒帯可)

国際FSA拳真館ワールド空手トーナメント2010

種目番号	種目名	種目番号	種目名
29.	女子軽量級(52Kg未満級)(黒帯可)	35.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯軽中量級(70Kg未満)
30.	女子重量級(52Kg超級)(黒帯可)	36.	(中級)黄帯～緑帯 一般色帯重量級(70Kg超級)
31.	マスターズの部(40歳以上 65Kg未満)(黒帯可)	37.	(上級)茶帯～黒帯 一般軽中量級(70Kg未満)
32.	マスターズの部(40歳以上 65Kg以上)(黒帯可)	38.	(上級)茶帯～黒帯 一般重量級(70Kg超級)
33.	(初級)白帯～青帯 一般色帯軽中量級(70Kg未満)		
34.	(初級)白帯～青帯 一般色帯重量級(70Kg超級)		

「第7回全日本ケイオス(CHAOS)セーフティ選手権大会」

「一般部門」

「ジュニア部門」

種目番号	種目名	種目番号	種目名
39.	一般男子の部 (α)	42.	幼年(年長)の部(男女混合)
40.	一般男子の部 (β)	43.	小学1年の部(男女混合)
41.	一般女子の部 (β)	44.	小学2年の部(男女混合)
		45.	小学3年の部(男女混合)
		46.	小学4年の部(男女混合)
		47.	小学5年の部(男女混合)
		48.	小学6年の部(男女混合)
		49.	中学男子の部
		50.	中学女子の部

学年を間違った場合は失格となりますので、ご注意ください。

小・中・高生において、初級・中級以外は黒帯出場「可」です。

参加人数によりクラスの新設・統合等を行う場合があります

－ 試合規約 －

「第7回オールジャパン Jr.ジュニア空手道選手権大会」

「国際 FSA 拳真館ワールド空手トーナメント 2010」

【フルコンタクトカラテルール】

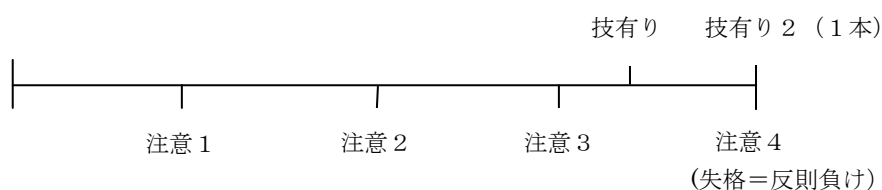
組手の勝者は、一本勝・判定勝ち・相手の反則ないし失格による勝ちにより決定される。

試合時間	一回戦～準々決勝	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼年、小学生、中学生、高校生クラス 本戦(1分30秒)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者) ● 女子・マスターズ・一般色帯クラス・一般上級クラス 本戦(2分)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者)
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり

1. 一本勝ち(技あり2本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。
上段蹴りがノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり、触れただけや、押したような蹴りは技ありを取らない。但し胴廻し回転蹴りの様に自ら倒れこんで蹴る技は、ダメージのみを取るものとする。

2. 判定基準

A. 「注意」「減点」「技あり」「1本」の力関係



B. 「注意」「技あり」がない場合の優先順位

1・ダメージ 2・有効打 3・手数、足数 4・気迫、積極性

C. 「注意」差一つの場合は勝敗にあまり関係ない。但、マストシステムの最終延長において試合内容が全く互角の場合は「注意1」を取られた方が負けとなる。

D. 「注意」差二つの場合は、基本的に「注意2」を取られた方が負けである。しかし、試合内容で相手を大きくリードした場合は、引き分けもある。

E. 「注意」差三つの場合は相手がどんなにリードしていても負けである。

F. 片方に「技あり」と「注意」がある場合は、基本的に技ありのある方が勝ちではあるが、「注意」の数と試合内容によっては主に以下の通りである。

0 < 技有り + 注意2 * 注意差2つなので技有りのある方の勝ち。

0 ≤ 技有り + 注意3 * 技有りのある方の勝ちだが、注意差3つなので試合内容では引き分けもある。

注意1 < 技有り + 注意3 * 注意差2つなので技有りのある方の勝ち (注意の相殺)

注意3 > 技有り + 注意4 * 技有りがあっても注意4の時点で失格。

技有り = 技有り * 必ずしも引き分けではない。試合内容で判断する。また、注意の数で判断する。

G. 定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の

- 総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
F. 延長、再延長でも決まらない場合は体重の軽い方が勝者となる。

3. 反則

- A. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意4で失格となる。
B. 拳・肘による顔面殴打。
C. 金的蹴り、貫手による顔面・首・頭突き of 攻撃。
D. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
E. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
F. 相手をつかんだ時。
G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
H. 掌底で押すこと。
I. 相手を抱えたままの攻撃。先に抱えた方が反則(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
J. 膝蹴りの際の瞬間的なヒッカケは可、但し連続で行うことは、不可。
小中学生のつかみ・ヒッカケはすべて反則。
K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
M. 少年部の上段への膝蹴りは安全性考慮のため、反則となります。

4. 失格

- A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。
D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
E. 注意を4回受けた時。
F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。

5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。

- A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。

6. 防具

- A. 幼年・小学生、中学生、高校生クラスはヘッドギア、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
B. 中学・高校女子はイサミのチェストプロテクター着用(小学校女子3年生から6年生は任意で着用)。
C. 色帯クラスはパンチンググローブ(親指のみフィンガーカットグローブ可、拳サポーターは不可)、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
D. ヘッドギアは主催者側で用意致しますが、その他の防具は各自で用意してください。
*(拳・足 甲サポーは中身がスポンジ製で表は布製のものを使用)。
E. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
F. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。
G. ワールド空手トーナメント(上級)出場者は素手素足のうえファールカップ着用のこと。

— 試合規約 —
「第7回全日本ケイオス(CHAOS)セーフティー選手権大会」
【顔面パンチありの防具付きカラテルール】

一般部門

試合時間	一回戦～準々決勝	●ケイオス(CHAOS)セーフティーの部 男子(α)(β)・女子(β) 本戦(1分30秒)→延長(1分)→体重判定(軽いほうが勝者)
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり

1. 一本勝ち(技あり3本で一本) 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手を3秒以上ダウンさせるか、相手が試合続行不可能となった場合。
3秒以内に立ち上がった場合は「技あり」。
技あり 上段への攻撃(突き、蹴り等)、中段への攻撃(突き、蹴り等)がノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり。
2. 判定
定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
延長、再延長でも決らない場合は体重の軽い方が勝者となる。
3. 反則
 - A. 拳、肘による後頭部への攻撃。
 - B. 金的蹴り、貫手による首・への攻撃。
 - C. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
 - D. 以上の他審判員が特に反則とみなしたとき。
 - E. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意2で減点1(減点1は相手方に技あり1)。注意3で失格となる。
 - F. 相手をつかんだ時。
 - G. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
 - H. 掌底で押すこと。
 - I. 手を抱えたままの攻撃(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
 - J. ヒッカケ及びつかみはすべて不可。
 - K. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
 - L. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
 - M. 相手選手の反則によりその後の試合続行が不可能となった場合、反則を行った選手は失格とする。
また、その場合、次の試合において、試合続行が不可能の対戦相手を不戦勝とする。
 - N. 足へのローキック(下段蹴り・腿から下) ※一般男子B・女子Bクラスのみ
軽くでも当たれば、警告。続けて行った場合は注意1(注意2で減点1、相手方に技あり1と同等、注意3で失格)。
ダメージのあるようなものに関しては、即減点1
数秒でもダメージが残るような攻撃に対しては失格とする。
4. 失格
 - A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
 - B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
 - C. 見合ったままでの状態で1分以上経過した時。

- D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
 E. 注意を3回受けた時。
 F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。
 G. 軽量級、中量級で体重オーバーの際、減点か失格。
5. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。
 A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
 B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
 C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金10万円を申し受けます。
 D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。
6. 防具
 A. ケイオス(CHAOS)セーフティーの部はヘッドギア、胴プロテクター、拳サポーター、レッグサポーター、ファールカップ着用を義務付ける。
 ヘッドギア・胴プロテクター・拳サポーターは主催者側が用意します。
 B. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
 C. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。
一般男子の部 α(アルファ)はローキックあり、胴プロテクターなしで行う。

ジュニア部門

試合時間	一回戦～準々決勝	●ケイオス(CHAOS)セーフティー ジュニア部門 幼年・小学生・中学生 本戦(1分30秒)→延長(1分)→マスト方式による判定
	準決勝、決勝戦	再延長(1分)あり→マスト方式による判定

< 6ポイント先取ルール >

1. **一本勝ち** 反則箇所を除いて、突き・蹴りを瞬間的に決め、相手にダメージを与えるか相手が試合続行不可能となった場合。6ポイントを先取りした時点で一本勝ちとなる。
技あり 上段への攻撃(突き、蹴り等)、中段への攻撃(突き、蹴り等)がノーガードの相手に的確に当たった場合は技あり。
***ジュニア部門は少しでもダメージがあった場合は一本勝ちとする。**
 上段突き 1ポイント
 中段突き 1ポイント
 中段蹴り 2ポイント
 下段蹴り 2ポイント ※下段蹴りは相手が崩れた場合のみポイントとなります。
 上段蹴り 3ポイント
2. 延長戦
 両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合は自動的に延長戦に入る。
3. 判定
 定められた時間内で勝敗が決着しない場合は、有効打数優勢に試合を進めたか、減点等の総合判定を主審、副審が行い、過半数を支持された者が勝者となる。
 1回戦から準々決勝までは、延長戦(1分)まで行い両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合は、マスト方式による判定で勝敗を決める。
 準決勝・決勝戦は再延長戦(1分)まで行い両者ポイントがない場合、もしくは同数ポイントの場合

は、マスト方式による判定で勝敗を決める。

4. 反則

- A. 拳、蹴りによる後頭部及び背後への攻撃。
- B. 金的蹴り。肘による首から上への攻撃。貫手による首への攻撃。
- C. ダウンした相手に当てたり、蹴ったとき。
- D. 反則は悪質なものを除き、注意が与えられ、注意 2 で減点 1 (減点 1 は相手方に技あり 1) 注意 3 で失格となる。
- E. 相手をつかんだ時。
- F. 主審判断により、特に悪質な試合態度とみなされた時。
- G. 掌底で押すこと。
- H. 手を抱えたままの攻撃(相手の脇に腕を入れての攻撃も不可)
- I. ヒッカケ及びつかみはすべて不可。
- J. 技のかけ逃げ、自ら技をかけているように見せ、倒れ、相手に攻撃させない。
- K. 頭をつけての攻撃はバッティングの反則
- L. 相手選手の反則によりその後の試合続行が不可能となった場合、反則を行った選手は失格とする。また、その場合、次の試合において、試合続行が不可能の対戦相手を不戦勝とする。
- M. ジュニア部門はフック禁止。手による攻撃は直突きのみ有効。
- N. 以上の他、審判員が特に反則とみなしたとき。

5. 失格

- A. 試合中、審判員の指示に従わない時。
- B. 出場時刻に遅れたり、出場しないとき。
- C. 見合ったままでの状態で 1 分以上経過した時。
- D. 粗暴な振るまい、悪質な試合態度とみなされたとき。
- E. 注意を 3 回受けた時。
- F. セCOND及び選手が相手選手や特に審判に対してヤジった場合、その選手だけでなく団体を即刻退場とする。

6. 正当な理由なくして試合を放棄した時。但し下記の場合は例外とする。

- A. 大会主治医の診察を受け、その結果、試合続行不可能と見なされた時。
- B. 試合直前または試合中、本人に関する不慮の事故(家族に何か不幸が生じた場合など)が発生し、審判長・審議委員長が協議の上、退場を許可した時。
- C. 正当な理由なく試合を棄権及び放棄した場合は、違約金 10 万円を申し受けます。
- D. 交流試合の為、審判によって下された判定に対する審議等の申し入れは一切できないこととします。

7. 防具

- A. ケイオス(CHAOS)セーフティの部ジュニア部門はヘッドギア、胴プロテクター、専用拳サポーター着用、レッグサポーター(布製)、ファールカップ着用を義務付ける。
 - ※ ヘッドギア・胴プロテクター・拳サポーターは主催者側が用意します。
 - ※ 拳サポーターを持参いただく場合は指定の物「イサミ製カラー拳サポーター L-3091J 少年用(¥1,500)」を各自持参のこと。
- B. 各クラス共テーピングは可。過度のテーピングは不可。
- C. レッグサポーター内のプラスチックパットは禁止。つけて試合を行ったら失格。

参加申込書

'10 拳真祭 ～第1回熊谷 CUP～

「第7回オールジャパン Jr.ジュニア空手道選手権大会」

「国際 FSA 拳真館ワールド空手トーナメント2010」

「第7回全日本ケイオス(CHAOS)セーフティ選手権大会」

※ダブルエントリーの選手は種目別に申込書を2枚提出してください。

他流派団体名		
住所		
TEL	FAX	携帯番号
国際 FSA 拳真館 (総本部) 支部名		
(各流派代表者もしくは支部長)氏名及び捺印		
		⑩

ふりがな		性別 男・女	年齢	歳
氏名		昭和・平成 年 月 日生		
住所 〒				
電話番号	携帯番号			
身長	体重	出場種目番号		
cm	kg			
級・段位	帯の色	学年		
年生				
修行年数及び過去の大会入賞実績				

私儀、上記の通り相違がなく、また本大会のルールに従い正々堂々と競技することをここに誓います。万一試合中の事故、ケガがあった時、主催者側及び誰にも責任の所在を問うものでない事を誓約致します。

(本人未成年者の場合)保護者氏名 _____ 印 _____ 日付 _____

(本人)氏名 _____ 印 _____ 日付 _____

国際 FSA 拳真館空手道連盟御中

